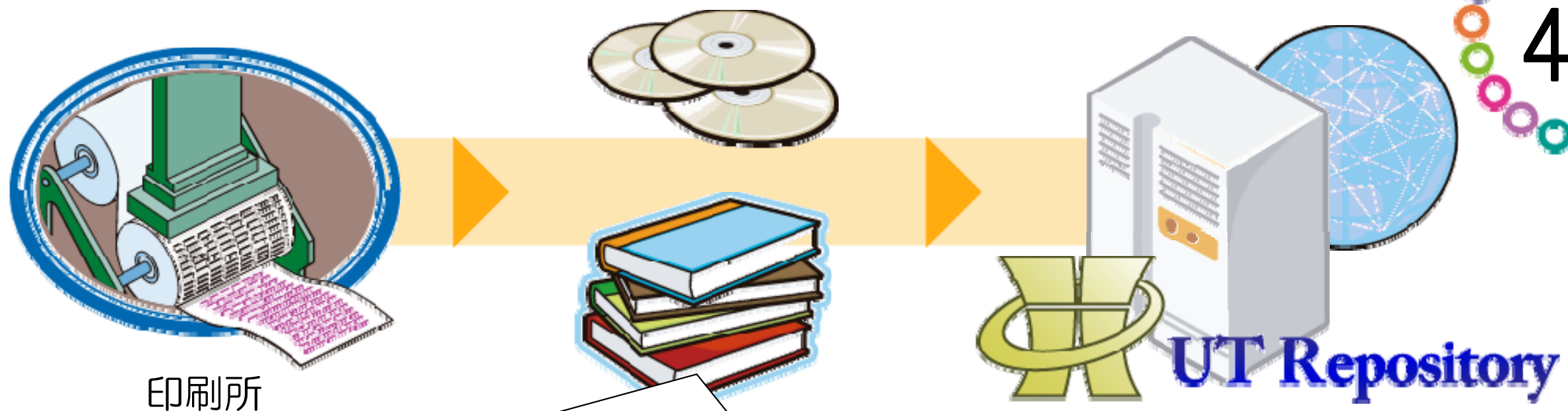


東京大学機関リポジトリ 平成20年度の成果

1. コンテンツ収集への制度化へ向けて：紀要の場合



印刷所

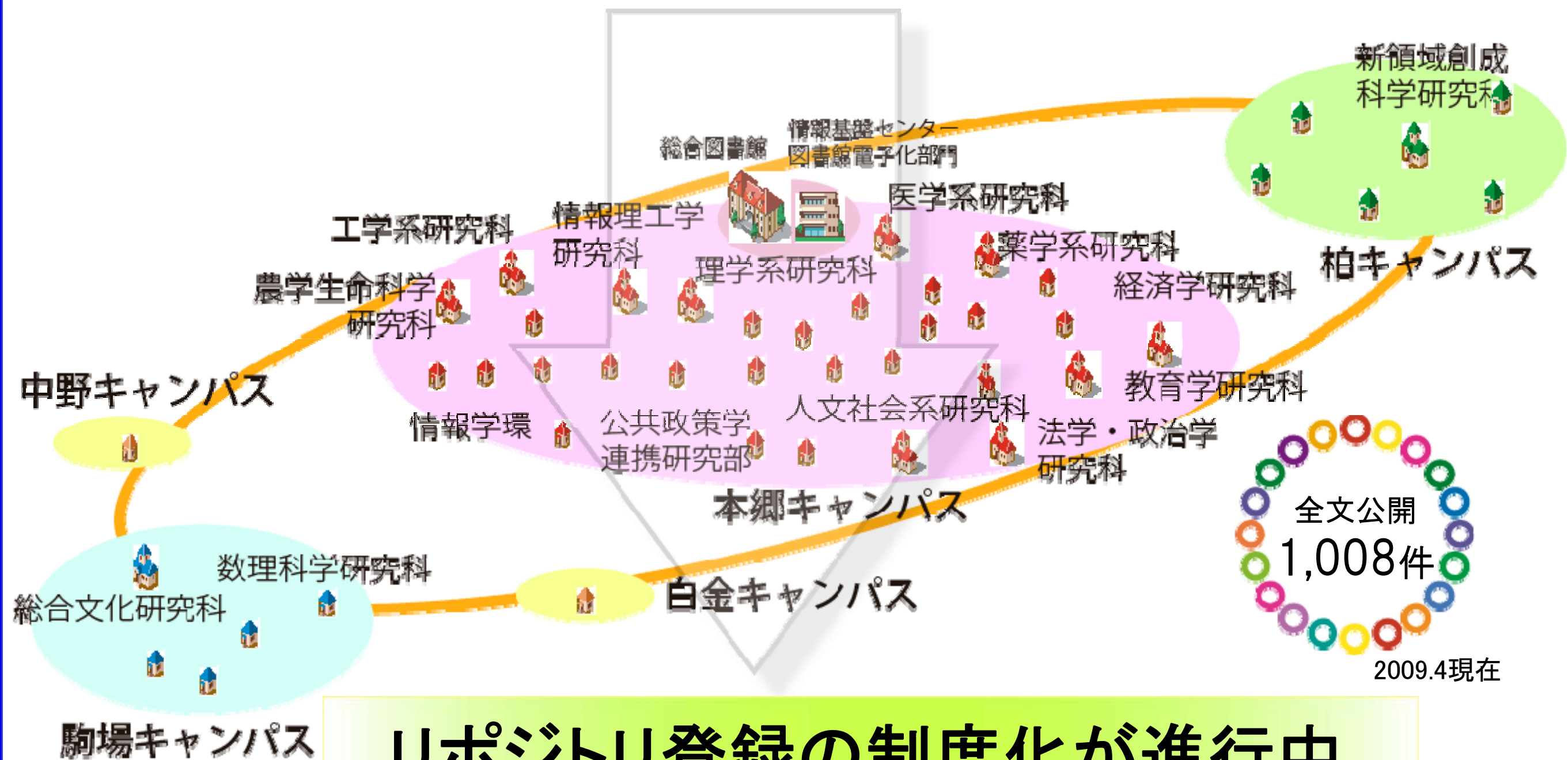
第〇条（公開）

本誌に掲載された論文は、
東京大学リポジトリ（UT Repository）での公開を原則とする。

- ◆ 投稿規程等によりリポジトリ登録を明文化
- ◆ 発行時にPDFを同時に作成
- ◆ さらに、創刊号からの電子化も実施

2. コンテンツ収集への制度化へ向けて：学位論文の場合

教授会や教務委員会等での教員説明が一段落し、
各部局学務担当者へ説明行脚（全15研究科）
→ 学位論文登録の促進を依頼



リポジトリ登録の制度化が進行中
研究科毎に個人用登録フォームを用意

3. UT Repositoryのコンテンツ作成状況&利用状況

**9割が学外アクセス
(3割が海外から)
情報発信の役割を
十分に果たしている**

地域別アクセス割合（ページ閲覧回数：200804-200903）

